



高齢者・障害者への福祉の増進に全力を



行政サービスの向上について



北部地域の学校環境の悪化は許さない！



南流山中学校移転に伴う通学路の安全対策

①高齢者や障害者への福祉増進について、令和5年度はどのように進めますか。②介護保険、後期高齢者医療保険などの特別会計への繰入金を除く高齢者1人当たりの福祉の予算は、10年前、また直近5年間でどのように推移していますか。

健康福祉部長 ①高齢者施策は、高齢者ふれあいの家支援事業、敬老バス支援事業など、高齢者が社会参加の機会を得られる事業を推進します。障害者施策は、障害者自立支援給付事業や地域の

実情に合わせて実施する相談支援事業、障害のあるお子さんのための児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児通所支援事業などを引き続き実施します。

②過去5年間については、令和4年度は1人当たり3140円、3年度は3200円、2年度は3410円、元年度は5730円、平成30年度は5220円です。10年前の平成24年度は、1万5900円です。高齢者人口の増加に伴い、1人当たりの予算額は減少傾向です。

北海道北見市は、本人同意のもと職員が要件を聞き取り、申請書を作成し、住民票などが取得できる「書かない窓口」を設置している。窓口業務効率化による職員の負担軽減を目的とした「書かない窓口」導入を検討すべきと考えるがどうか。

総合政策部長 本市では、これまで窓口業務については、手続き関係課の連携、おみやみ相談窓口の設置、証明書のコンビニ交付、引越しワンストップサービス、郵送申請、電子申請を実施

していますが、業務フローの見直しなどによる一層の業務改善が必要で、今後、「書かない窓口」の対象となる手続きや業務フローの調査研究を行ってまいります。

①江戸川台小学校のプールろ過機の点検は実施したのか。②ろ過機はなぜ更新しなかったのか。③北部地域の小中学校6校のプールは築何年か。④移動時間や他の授業への影響など課題が多い民間プール使用は、もっと慎重に対応すべきでは。

教育総務部長 ①新型コロナウイルス感染症の影響で水泳授業の実施を見送っていた2年間、プールの水を入れ替える必要がなく、不純物が発生していたため、プールの目視点検やろ過機の稼働点検は未実施でした。②ろ過機の更新を必要とする修繕や、不具合がなかったため、更新しなかったと認識しています。③東深井小学校は築47年、江戸川台小学校は築43年、西深井小学校は築43年、新川小学校は築32年、北部中学校は築51年、東深井中学校は築45年です。④全ての学校を民間委託という考えはありません。実証実験を踏まえて課題などを検証した上で、今後の学校施設の老朽化対策、長寿命化なども併せて検討してまいります。

令和6年度に移転する同校の通学区内にある鰯ヶ崎373地先交差点は、通行の見通しが良くなった。同交差点について、①改善された状況への問い合わせはあるか。②安全な歩行空間の整備が必要では。③整備する場合のスケジュールは。

土木部長 ①この状況を維持してほしい旨の要望を文書や電話でいただいています。②当該交差点は、鰯ヶ崎小学校と東洋学園大学跡地に移転する南流山中学校の通学経路であり、行

政、警察、学校、PTAなどが合同で実施した通学路合同点検における安全対策の指摘箇所です。市としては見通しの良い状況を確保し、安全な歩行空間を備えた交差点にしたいと考え、今後関係地権者と協議し、安全な交差点形状を検討していきます。

③用地取得に向けて関係地権者などとの協議が必要となるため、具体的な期間については申し上げることができませんが、可能な限り早期に整備できるように努めてまいります。



急性期および救急医療の体制拡充を



移動手段の確保で高齢者にやさしい街へ



体罰への真摯な反省と再発防止の徹底を



障がい者や障がい児の保護者の相談充実を！

東葛北部医療圏内各市の急性期病床がある病院数、病床数はどうなっていますか。また、小児救急医療体制はどうなっていますか。北部地域に新病院設置の事業計画が提出されています。市はどのような支援をしますか。急性期病床ですか。

市長 急性期病床がある病院数は、柏市12病院(以下数のみ)、松戸市11、我孫子市7、野田市3、流山市3、病床数は、柏市2647、松戸市2371、我孫子市552、野田市487、流山市5

19です。小児科病床数は、現時点での明確な資料が公表されていないため把握していません。夜間小児救急医療体制は、各市とも二次救急医療体制が整備されています。都内の医療法人が、北部地域への病院の立地に向け、令和4年度病床配分申請を行う際、あつせんなどの協力依頼を受けたため、誘致推進室が民間所有の土地情報を収集提供する形で支援しました。当該法人からは、回復期、慢性期病床の病床申請と聞いています。

本市の高齢化率の高い地域では、移動手段の確保は喫緊の課題である。①昨年策定された「一流山地域公共交通計画」を基に、北部地域ではどのような取り組みがなされているか。②今後の課題をどのように捉えているか。

まちづくり推進部長 ①高齢者の交通手段を確保するため、真和自治会住民の有志により、新たな公共交通サービスの導入に関する要望が提出されました。本年1月に開催した流山市地域公共

交通活性化協議会において報告し、現在路線バス事業者による新たな路線やバス停の追加などを検討しており、今後、流山ぐりーんバス導入の検討、それ以外の代替手段の導入検討へ移行します。②北部地域には、移動ニーズが高いが目的地に行きにくい公共交通検討地域が点在しているため、予約制デマンドタクシーなど、地域に合った交通手段を市民と共同で検討し、移動困難者をなくす公共交通の実現を目指します。

①2017年、市内2小学校で発生した1年生に対する不適切指導と体罰について、事案の経緯をどう捉え、どのような対応を図るのか。②保護者の「市が本来しなくてはならなかった処分を怠った」とのご意見をどう受け止めているのか。

市長 大変重く受け止めており、当該児童、保護者の皆様に多大なご心配やご不安をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます。本事案を教訓とし、再発防止の手立てを講じ、最大限取り

組んでいます。具体的に、管理職に正確な事実把握、記録、市教育委員会への速やかな報告を求め、事案により県教育委員会と連携し適正に対応しています。また、教師が心にゆとりを持てるよう、働き方改革にも全力で取り組めます。

②教育長 各学校で起きた諸問題は、正確な事実確認の下、記録を残すことが一番大事と考えており、市教育委員会への速やかな報告を求め、厳正な対策を立て対応します。

①中途障がいを負った当事者や、障がい児の保護者からの、今後についての大きな不安から、同じ境遇の方々の話を聞きたいという声がある。対応は。②今後相談があった場合に個人を紹介することは可能か。③市の窓口以外での相談対応は。

健康福祉部長 ①障害を負うことになった方や障害のあるお子さんを出産した保護者の方の不安や置かれた状況を受け入れていく際の心境は、大変なものであると理解しています。障害のある

方やご家族からの希望を受け個人を紹介することは難しく、現在行っていないので不安から、同じ境遇の方々の話を聞きたいという声がある。対応は、②今後相談があった場合に個人を紹介する場合は、個人が難しい場合がありますが、今後は、ニーズをより丁寧に確認し、対応します。②今後は、さらに団体、個人に協力を募り、不安を抱える方に紹介できるように取り組みを進めます。③相談が電話でもメールでも、丁寧に対応します。

急性期および救急医療の体制拡充を

健康福祉部長 ①高齢者施策は、高齢者ふれあいの家支援事業、敬老バス支援事業など、高齢者が社会参加の機会を得られる事業を推進します。障害者施策は、障害者自立支援給付事業や地域の

実情に合わせて実施する相談支援事業、障害のあるお子さんのための児童発達支援や放課後等デイサービスなどの障害児通所支援事業などを引き続き実施します。

②過去5年間については、令和4年度は1人当たり3140円、3年度は3200円、2年度は3410円、元年度は5730円、平成30年度は5220円です。10年前の平成24年度は、1万5900円です。高齢者人口の増加に伴い、1人当たりの予算額は減少傾向です。

移動手段の確保で高齢者にやさしい街へ

まちづくり推進部長 ①高齢者の交通手段を確保するため、真和自治会住民の有志により、新たな公共交通サービスの導入に関する要望が提出されました。本年1月に開催した流山市地域公共

交通活性化協議会において報告し、現在路線バス事業者による新たな路線やバス停の追加などを検討しており、今後、流山ぐりーんバス導入の検討、それ以外の代替手段の導入検討へ移行します。②北部地域には、移動ニーズが高いが目的地に行きにくい公共交通検討地域が点在しているため、予約制デマンドタクシーなど、地域に合った交通手段を市民と共同で検討し、移動困難者をなくす公共交通の実現を目指します。

体罰への真摯な反省と再発防止の徹底を

市長 大変重く受け止めており、当該児童、保護者の皆様に多大なご心配やご不安をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます。本事案を教訓とし、再発防止の手立てを講じ、最大限取り

組んでいます。具体的に、管理職に正確な事実把握、記録、市教育委員会への速やかな報告を求め、事案により県教育委員会と連携し適正に対応しています。また、教師が心にゆとりを持てるよう、働き方改革にも全力で取り組めます。

②教育長 各学校で起きた諸問題は、正確な事実確認の下、記録を残すことが一番大事と考えており、市教育委員会への速やかな報告を求め、厳正な対策を立て対応します。

障がい者や障がい児の保護者の相談充実を！

健康福祉部長 ①障害を負うことになった方や障害のあるお子さんを出産した保護者の方の不安や置かれた状況を受け入れていく際の心境は、大変なものであると理解しています。障害のある

方やご家族からの希望を受け個人を紹介することは難しく、現在行っていないので不安から、同じ境遇の方々の話を聞きたいという声がある。対応は、②今後相談があった場合に個人を紹介する場合は、個人が難しい場合がありますが、今後は、ニーズをより丁寧に確認し、対応します。②今後は、さらに団体、個人に協力を募り、不安を抱える方に紹介できるように取り組みを進めます。③相談が電話でもメールでも、丁寧に対応します。